

振り返る

先月9月から1月までの「事務所便り」(創刊は平成20年の6月)の時々を考えを綴った「コラム」を遡ってみました。タイトルから見えて来るものは何でしょう。我々は6年前と比べて、働けど々良くなつたとはいえず、思いやめません。我々の民主主義が唯一無二の制度か、いつも疑問です。

世界のキリスト教徒は約20億人、イスラム教は13億人、ヒンドゥー教9億人程度、仏教は3億6千万人です。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2014年10月14日 (火) NO 370
 地域から明るい未来を作ろう

- ・ 昼間の星は見えない
- ・ 全て官僚の手の内
- ・ 自社の事業承継と税
- ・ 常識を超えて未来を創造
- ・ 夢とビジョンが宝
- ・ リーマンショック以来の
- ・ 落込み
- ・ 僕が飛び跳ねる理由
- ・ 歴史に何を学ぶ
- ・ 金沢市健保課
- ・ 神は細部に宿る
- ・ 成長が成功のもと
- ・ 粉飾の金融政策
- ・ バカの砦
- ・ 景気回復と消費増税
- ・ クセを見抜く
- ・ 勇気ある挑戦
- ・ 熱意と覚悟が決める
- ・ コペルニクスの真相
- ・ 高齢化と衰退
- ・ 争族を回避
- ・ 菅直人と政党の失敗
- ・ 腐敗する拝金国家
- ・ なぜ・どうして
- ・ 万策尽きて且つ
- ・ 今日明日か
- ・ 欲望と野望
- ・ 安心と満足
- ・ 国外財産調書の提出制度
- ・ 困っているから怒る
- ・ 健全な感性と自然
- ・ 未来の姿

- ・ 消費増税から三か月
- ・ サッカー裸の王様
- ・ ノーベル賞野依理事様
- ・ 六法全書の正義
- ・ 和民ブラックと銀行
- ・ 金沢思風塾の開催
- ・ 言葉と力
- ・ 皇族とベニスの商人
- ・ 働く意味
- ・ 答えは現場に
- ・ 黒田日銀総裁
- ・ 北陸新幹線と白山駅
- ・ 税理士の実態
- ・ 電力需要の最大ピークは
- ・ 一月
- ・ みえる化
- ・ 中国の虚構

- ・ 時代を迫わず、仕掛けて待つ
- ・ 愛の復権
- ・ 人口増が世界を救う
- ・ 平和主義と武器輸出
- ・ 目的と目標
- ・ 昨日より今日
- ・ 行動し失敗に学ぶ
- ・ 誠実と信頼
- ・ 不服審判所に検閲強化
- ・ 料理の神髄
- ・ 足りない野生
- ・ 経営指針と最高裁判決
- ・ 人生の扉
- ・ 消費増税の背景
- ・ 同盟国の役割
- ・ 消費税の仕掛け
- ・ 不都合な未来
- ・ 物質文明の限界
- ・ 事業は結果がすべて
- ・ 都庁は元厚生労働大臣
- ・ 死ぬまで学ぶ
- ・ 偽証NHK交響曲第一番
- ・ 数字の背後
- ・ 不振の根
- ・ 反社会的
- ・ 明日に続く組織
- ・ 春は遠い
- ・ いい会社は
- ・ 困難に挑戦
- ・ 全ては目標
- ・ 成長の序章
- ・ 国民を潰す消費増税
- ・ 成長を優先
- ・ 瞬間の連続
- ・ 時は命なり
- ・ 金と色と権力
- ・ 無策が招く大不況
- ・ 新幹線と三市一町
- ・ 変な人
- ・ 新年おめでとうございま
- ・ す
- ・ 仕組まれる日本の衰退
- ・ ビットコイン

今年の2014年ノーベル物理学賞に、実用的な青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎勇名城大教授(85)と天野浩名古屋大教授(54)、中村修二米カリフォルニア大サンタバーバラ校教授(60)の日本人3名に授与すると10月7日発表がありました。

物理学賞は08年に南部

田安とノーベル賞

2012年はノーベル生理学・医学賞に、中山伸弥京都大学iPS細胞研究所長・教授が受賞されました。

これは日本が元氣な証明でしょう。私達に問題があるから。どう読み取るべきでしょう。

氏と小林誠高エネルギー加速器研究機構名誉教授、益川敏英名古屋大特別教授が受賞して以来6年ぶり、

一瞬元氣になりましたが、

日本人が世界の進歩発展に寄与したものです。

為替は80円から110円と僅か2年弱の間に37・5%もドルに対して価値が、安くなりました。